

令和8年度 シラバス

教科	家庭	科目	生活教養	必修・選択	単位数	2
教科書・副教材等						
学習の到達目標	社会生活で役立つ教養やマナー及び、日本の伝統文化などに関する知識と技術を習得させ、生活向上を図る能力と実践的な態度を育てる。					
評価の観点	a. 知識・技能	b. 思考・判断・表現	c. 主体的に取り組む態度			
	社会生活で役立つ教養やマナー、日本の伝統文化などの基礎的・基本的な技術を身に付けている。	社会生活で役立つ教養やマナー、日本の伝統文化などについて課題を見つけ、その解決を目指して思考を深め、適切に判断し、工夫し創造する能力を身に付けている。	社会生活で役立つ教養やマナー、日本の伝統文化などに関心をもち、その向上を目指して意欲的に取り組む態度が身に付けている。			
評価の方法	上記の3つの観点について、授業への出席状況、授業中の態度、課題等の提出状況、発表の仕方や内容、定期考査等から総合的に評価を行う。					
	単元		主な学習内容			
前期	1 高校生としてのエチケット 高校生としてのマナー 正しい言葉遣い 2 社会人としてのエチケット 手紙の書き方 面接の受け方 職場での心得 3 暮らしのエチケット 冠婚葬祭のマナー 日本の伝統的な行事と生活文化		・高校生として必要とされる教養やマナーについて考える。 ・社会に出るために必要なマナーについて理解し、職場での心得を身に付ける。 ・TP0に応じた服装について考える。 ・日本の伝統文化を理解し、どのように家庭生活や社会生活に活かすかについて考える。			
後期	3 暮らしのエチケット 日本料理のマナー 西洋料理のマナー 中国料理のマナー 4 自立に向けて 一人暮らしの住環境 一人暮らしの食生活 一人暮らしの衣服のケアと収納 一人暮らしの生計		・各料理の違いを理解し、それぞれに応じたマナーを身に付ける。 ・4つの自立について理解し、生活課題を解決する力を身に付ける。			